

ソリューションの基本

Q：VMware Horizon Mirage について教えてください

A：VMware Horizon Mirage™ は PC を IT 部門が所有し管理するレイヤーと、エンド ユーザーが所有し管理するレイヤーとに論理的に切り分ける階層型のイメージ管理ソリューションです。エンド ユーザーのファイルやカスタム設定を維持したまま、IT 部門が管理するレイヤーを更新できます。階層化されたデスクトップ イメージのスナップショットやバックアップを作成することで、障害発生時のリカバリやロールアップが迅速になるため、エンド ユーザーの生産性を最大にすることが可能です。

Q：Horizon Mirage の仕組みについて教えてください

A：Horizon Mirage では、IT 部門またはエンド ユーザーが所有する論理レイヤーに PC を分類し、システムの完全なコピーをデータセンターに送信して同期を維持します。エンド ユーザーがオフラインになった場合は、次にユーザーがオンラインになった時に同期を行います。同期により、変更点が IT 部門の管理対象レイヤーへプッシュされ、ユーザーによる変更がデータセンターに送信されます。統合と同期によって、IT 部門は PC をより効果的に管理できるようになります。Horizon Mirage が管理するイメージは、Windows のラップトップ やデスクトップ PC で実行するか、VMware Fusion® Professional を使用して、Mac または Linux システム上の仮想デスクトップとしてローカルで実行できます。

Q：Horizon Mirage の論理レイヤーの仕組みを教えてください

A：Horizon Mirage クライアントを PC にインストールすると、デバイス全体がスキャンされ、その内容が複数の論理レイヤーに分類されます。このとき、2 つのレイヤーのグループが作成されます。IT 部門が所有および管理するレイヤーと、ユーザーが管理するレイヤー（ユーザーのプロファイルやデータ、ユーザーがインストールしたアプリケーションなど）です。

Horizon Mirage によって PC 上のデータが移動または変更されたり、コンポーネントが分離または仮想化されることはありません。その代わりに、IT 部門がシステム コンポーネントをより詳細に管理できるように、PC 上のデータが分類されるだけです。レイヤーが更新された場合は、そのエンド ユーザーシステムで実行されているイメージに変更が反映されます。

Q：Horizon Mirage はどのようにして、コンピュータ上のデータを異なる論理レイヤーに分類するのですか

A：データはすべてデータセンターに格納されます。Horizon Mirage はアルゴリズムを使用して、端末上のどのオブジェクトがどの論理レイヤーに属するかを判断します。データセンター内の情報は、Horizon Mirage サーバに登録されている各端末からのデータの論理グループ内に格納されます。

Q：Horizon Mirage 4 の新機能を教えてください

A：Horizon Mirage 4 には、アプリケーションのレイヤー化機能が含まれます。IT 管理者は、任意の組み合わせのエンド ユーザー向けに個別のアプリケーションまたはアプリケーショングループを含むレイヤーを作成し、中央から展開および管理できます。

Horizon Mirage 4 には Fusion Professional が含まれているため、IT 管理者は、Mac ベースまたは Linux ベースのデスクトップやラップトップ PC で実行されている仮想マシンに、企業のイメージやアプリケーションを展開できます。

また、Horizon Mirage 4 には、アプリケーション仮想化テクノロジーの VMware® ThinApp® が含まれています。これにより、従来の Windows デスクトップ アプリケーションを分離してカプセル化し、Horizon Mirage で管理しているイメージレイヤーに含めることができます。

Q：WAN を経由した同期のパフォーマンスについて教えてください

A：Horizon Mirage は、WAN 経由のデータ転送が問題なく機能するよう、ストレージ内とネットワーク転送間でデデューブ（重複排除）を活用します。Horizon Mirage では、データが一度だけ保存されるように、ストレージでグローバル マニフェストが使用されます。Horizon Mirage は、必要な場合にのみデータをネットワーク上に送信します。ネットワーク送信前に、Horizon Mirage によって送信元と送信先がスキャンされ、その差分が計算されて足りないファイルなどが特定され、必要なファイルのみ送信されます。また、ネットワーク帯域幅をさらに節約するために、ネットワークに送信するデータを圧縮します。

Q： Horizon Mirage は、既存の PC ライフサイクル管理 (PCLM) ソリューションの代わりになりますか

A： いいえ、Horizon Mirage は PCLM ソリューションに取って代わるものではありません。既存のツールやプロセスを補い、拡張するものです。イメージの階層化テクノロジーによって IT 部門は、オペレーティング システムのインプレース移行時やハードウェアの交換時に、ユーザーのデータやプロファイルを容易に移行できます。また、PC のスナップショットを作成することで、障害が発生した場合のロールバックや迅速なリカバリが可能になります。

Q： Horizon Mirage のポリシーは変更できますか

A： IT 管理者は、Horizon Mirage の設定を使用して、Horizon Mirage システムの動作をカスタマイズできます。たとえば、スナップショットを作成する頻度、統合管理するファイルとしないファイル、端末をシステムで統合管理する方法などを設定できます。また、Horizon Mirage 管理システムのロール ベースの認証を制御することも可能です。

Q： Horizon Mirage では、どのようにして PC システムをエンド ユーザーごとにカスタマイズできますか

A： Horizon Mirage では、IT 管理者が基盤となるレイヤーを適用するときにも、すべてのエンド ユーザー データが維持されます。エンド ユーザーのデータが変更されるのは、基盤レイヤー上のデータと競合した場合のみです。たとえば、エンド ユーザーが Office 2007 をインストール済みで、IT 管理者が Office 2010 を含むベース レイヤーを展開した場合、ユーザーの Office インスタンスは Office 2010 にアップグレードされます。それ以外では、ユーザーの個人設定、ファイル、およびアプリケーションが変わることはありません。

Q： データのセキュリティはどのように管理されますか

A： Horizon Mirage のセキュリティに関する要点は次のとおりです。

- データセンター内の Horizon Mirage ストレージ ボリュームにはサードパーティ製の暗号化を使用できます。
- サードパーティ製のファイル ベースの暗号化ソリューションは Horizon Mirage と互換性があります。
- サーバとクライアントの通信は SSL を使用して暗号化できます。
- Horizon Mirage によってデータセンターにバックアップされるすべてのファイルは、NTFS の権限が維持されます。
- 管理はロール ベースで行います。
- Horizon Mirage のコンソールで開始されるタスクに対し、監査ログが作成されます。

Q： デスクトップ イメージはどの程度バックアップされますか

A： Horizon Mirage では、ファイルだけでなく PC 全体がバックアップされます。以前のユーザー PC の完全なイメージ (個人のアプリケーション、ファイル、カスタム設定を含む) をそのまま別のデスクトップまたはラップトップ PC にリストアできるので、リストア作業が簡素化されます。

Q： デスクトップ イメージのリカバリ プロセスには、どのようなオプションがありますか

A： デスクトップ リカバリには、次の 3 つのオプションがあります。

- デバイス全体をリストア (オペレーティング システム、アプリケーション、ユーザー データ、およびプロファイル)
- アプリケーション、ユーザー データ、およびプロファイルのみリストア
- ユーザー データとプロファイルのみリストア

Q： エンド ユーザー自身が復旧を開始することはできますか

A： いいえ、リストアと移行作業は IT 管理者が開始する必要があります。

Windows 7 への移行

Q： Horizon Mirage では、Windows 7 への移行がどのように効率化されますか

A： Horizon Mirage では、インプレース移行とハードウェアの交換の 2 つの一般的な方法で Windows 7 へ移行できます。 Horizon Mirage では、IT 部門がプロビジョニングした新しい Windows 7 イメージを提供して既存の Windows XP デバイスをアップグレードするか、エンド ユーザーのプロファイルやファイルを Windows XP デバイスから新しい Windows 7 デバイスに移行できます。

Q： Horizon Mirage は、移行が失敗した場合に発生するダウンタイムを短縮しますか

A： Horizon Mirage では、インプレース移行前に、Windows XP システム全体のスナップショットが作成されます。問題が発生した場合、IT 部門は迅速にエンド ユーザーの以前のシステムをリストアできます。

Q： 通常、移行に伴ってエンド ユーザーのダウンタイムは発生しますか

A： ユーザーは、Windows 7 のイメージが Horizon Mirage Server からユーザーのデバイスにダウンロードされている間も、通常どおり作業を継続できます。ダウンロード後、Windows 7 のイメージを適用するために再起動が必要となり、ダウンタイムとなりますが、通常は 30 分以内です。

Q： Horizon Mirage クライアントの帯域幅の要件を教えてください

A： Horizon Mirage は、WAN 経由でも問題なく機能するように開発されています。 Horizon Mirage では、ユーザー 1 人あたり平均で 15 KB / 秒の帯域幅が必要です。これは、ユーザー 1 人あたり 1 日約 50 MB に相当します。また、複数の場所に様々な方法でのサービス品質（QoS、優先制御や帯域制御など）を実装することにより、帯域幅に負荷をかけないようにすることも可能です。 Horizon Mirage クライアントでは、帯域幅と遅延が自動的に監視され、ユーザーのニーズに応じて通信が調整されます。

Q： Horizon Mirage で管理されるシステムを使用する際、ユーザーがオンラインである必要はありますか

A： いいえ。 Horizon Mirage クライアントとイメージは、Windows PC や、 Fusion Professional を使用した仮想マシンに直接インストールされます。エンド ユーザーはローカル デバイスで処理できるため、オフライン時の生産性を維持できます。

Q： Horizon Mirage クライアントは、DOS、Linux、Mac、および UNIX に対応していますか

A： Horizon Mirage クライアントは、Windows XP の 32 ビットシステムおよび Windows 7 の 32 ビットと 64 ビットシステムに対応しています。 Horizon Mirage クライアントは仮想マシン内で実行できるため、PC イメージを Mac ベースや Linux ベースのシステムにも提供できます。

Q： Horizon Mirage は異なる PC 間で同期することも可能ですか

A： Horizon Mirage では、複数のデバイス間で同じエンド ユーザー イメージを同期することはできません。

Q： Horizon Mirage のライセンスについて教えてください

A： Horizon Mirage の価格とライセンスは、指定ユーザー単位のモデルで提供されます。

Q： Horizon Mirage の購入方法について教えてください

A： Horizon Mirage は、単体または Horizon Suite のバンドルとして、VMware の認定リセラーからご購入いただけます。

